**資料７　事例報告（例）**

症例（事例）報告の記載例

**○事例（症例）報告に記載する項目は次の７項目です。**

**1.患者（対象者）情報**

プロフィール（年齢、性別、職業）、傷病名（病歴）、身体状況（身長，体重など）、生活背景

**2.介入までの経過**

　対象者（患者）への介入（紹介）までの経過を経時的に記載する。

**3.栄養スクリーニング**

スクリーニングツールの記載、スクリーニング結果の提示または紹介（多職種からの紹介）理由

**4.栄養アセスメント**

栄養アセスメントは、 FH「食物/栄養関連の履歴」、AD「身体計測」、BD「生化学データ」、PD「栄養に焦点をあてた身体所見」、CH「既往歴」の５つの項目から問題点を抽出して実施し，栄養に関する問題を正しく導き出す。

**5.栄養診断**

栄養診断は、NI「摂取量」、NC「臨床栄養」、NB「行動と生活環境」の3つの項目からなる70種類の国際標準化された栄養診断から適する栄養診断コードNoと用語を選択する。

※栄養診断P（Problem or Nutrition Diagnosis Label）は， E（Etiology：原因や要因）とS（Sign/Symptoms：栄養診断を決定すべき栄養アセスメント上のデータ）により決定する。

初回指導時に、栄養診断の根拠に用いたアセスメントと栄養診断・計画をSOAPで記載する。

|  |
| --- |
| 栄養診断：NIエネルギー摂取量過剰・・・S:（主観的データ）O:（客観的データ）A:　栄養アセスメント＋栄養診断（PES）での記入P:　Mx）Rx）Ex） |

**6.栄養介入とモニタリング・再評価（臨床経過）**

栄養介入は、栄養診断とその病因に基づいてND「食物・栄養提供」、 E「栄養教育」、 C「栄養カウンセリング」、 RC「栄養ケアの調整」の4つの項目から対象者のニーズに合わせて、栄養摂取、栄養に関連した知識・行動・環境状態などの栄養問題を解決（改善）する。

１）目標栄養量

２）栄養介入計画（栄養アセスメントのFH、AD、BD、PDの項目の中から設定する。）

３）栄養介入の経過

**7.栄養ケアプロセスの総合的評価**

**※記載上の注意点**

・Ａ４用紙３枚（片面印刷）にまとめる。

・本文の基本フォントは、MS明朝体（英数字記号は半角を使用し，MS明朝体またはTimes New Roman）、文字の大きさは、10.5ポイントとする。

・句読点は、日本文は句読点（、）マル（。）、英文は、コンマ（，）とピリオド（．）を使用する。

・検査値や計測値には、必ず単位を入れる。また、記載する場合は、数字と単位の間（単位同士の間）に半角スペースを入れる。

・データは、個人や施設名が特定できないように配慮して記載する。

**事例報告１（例）**作成日　平成○○年○○月○○日

**栄養管理事例報告（○○○分野）**

所属栄養士会　○○○○　　都･道･府･県　　　　会員番号　　△△－△△△△

施設名　□○△□○△□○△　　　　　　　　　 提出者氏名　　○○○○○○

|  |
| --- |
| **＜対象者（患者）情報＞** |
| **＜介入に至るまでの経過（栄養管理開始までの経過）＞** |
| **＜栄養スクリーニングの状況（多職種からの紹介状況も含める）＞** |

**事例報告２（例）**

提出者氏名　　○○○○○○

**＜アセスメントと栄養診断＞**

|  |  |
| --- | --- |
| **栄養診断** |  |
| **Ｓ** |  |
| **Ｏ** |  |
| **Ａ** |  |
| 栄養診断の根拠（PES） |
| **Ｐ** | Ｍｘ）Ｒｘ）Ｅｘ） |

S：Subjective data（主観的データ），O：Objective data（客観的データ），A：Assessment（評価），P：Plan（計画）

Mx：Monitoring plan（モニタリング計画），Rx：therapeutic plan（栄養治療計画），Ex：educational plan（栄養教育計画）

作成日　平成○○年○○月○○日

**事例報告３（例）**

**栄養管理事例報告（○○○分野）**

提出者氏名　　○○○○○○

|  |
| --- |
| **＜栄養介入＞** |
| **＜栄養ケアプロセスの総合的評価＞** |